

## 2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	地盤震動小委員会	主 査 名：上林宏敏 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：五十田博 (主 査 名：菊地 優)
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	震源～表層地盤の震動特性に関する研究の推進と関連情報の収集及び成果発表 初年度：直近 10 年間の新たな課題の収集・整理とシンポジウムでの成果発表 微動探査手法・巨大地震に対する強震動予測手法の適用性に関する研究の推進 2 年度：上記に関する研究情報の収集とシンポジウムの開催、出版準備 3 年度：出版物の執筆開始（直近約 20 年間の新たな情報の収集を含む）、シンポジウムの開催 4 年度：出版物の脱稿・印刷・講習会開催準備、50 回記念地盤震動シンポジウムの開催	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：上林宏敏(京都大学) 幹事：佐藤智美(清水建設)、高井伸雄(北海道大学)、元木健太郎(小堀鐸二研究所) 委員：浅野公之(京都大学)、大野晋(東北大学)、大堀道広(福井大学)、川辺秀憲(京都大学)、神野達夫(九州大学)、境有紀(京都大学)、高橋広人(名城大学)、永野正行(東京理科大学)、松島信一(京都大学)、三浦弘之(広島大学)、吉田邦一(地域地盤環境研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	地盤震動研究技術普及 WG：最新の地盤震動研究・技術普及のための出版企画の編集・取りまとめ作業と講習会企画 地震動と地盤構造評価高度化 WG：強震動研究全般を調査研究対象とする直上委員会と連携し、地震動・微動・地盤構造評価手法の高度化	
2022 年度予算	300,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s4/">http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s4/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) <small>*能力開発支援事業委員会承認企画</small>	1. 第 50 回地盤震動シンポジウム「地盤震動研究の 50 年と今後に向けて」 『同名資料』 参加者数 181 名 (現地参加者 56 名, オンライン参加者 125 名)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	第 50 回地盤震動シンポジウムを通じ、地盤震動に関する過去 50 年間の研究活動の取り纏めと最新の研究情報の収集を行い発表した。出版物の発刊に向けて、執筆(査読対応を含)が完了し、講習会の準備を行った。
委員会活動の問題点・課題	WG を含めた委員の世代交代